



RI 第 2 6 1 0 地区

東となみロータリークラブ会報

2011-2012 年度 No. 4 6

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F

ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 F A X 0763-53-1334、

inashorc@athena.ocn.ne.jp

2011-2012 年度 会長 高瀬顕正、幹事 浅田裕二

2011-2012 年度 RI テーマ



「こころの中を見つめよう

博愛を広げるために」

(カルヤン・バネルジー会長)

例 会 記 録

第 1 6 2 4 回例会

平成 2 4 年 6 月 1 3 日(水)

井波文化センターエイトホール

1. 点 鐘 高瀬会長
2. 君が代斉唱
3. ソング 「奉仕の理想」
4. ゲスト紹介：水島政光会員
5. ビジター：河合映浩君（南砺）川上広美君（砺波）
6. 月結婚記念日：上田会員（7 日）



7. 月誕生日：長谷川総一郎会員（14 日）岩崎会員（28 日）・・・バースディソング
8. 米山奨学金授与：高源さん。スピーチ「本日の例会は、たくさんのお客様で大変嬉しいです。2つの報告があります。1つ目は、就職活動が終了となりました。不二越の子会社で「不二越情報システム」に内定しました。2つ目は、6月3日、「庄川観光祭クリーン大作戦」と「南砺の山々を守ろう植樹祭」の参加し、大変貴重な体験をしました。この活動を通して環境問題について深く考えるようになり、私の中で何かが変わった感じです。これから中国でもこのような活動をやってもらいたいと思います。この事を中国の皆さんに伝

えたいと思います。本当に皆様に感謝しています。有難うございました。」



9. **会長の時間**：久しぶりの例会で、懐かしい気がします。奥野館長さん、本日の卓話よろしくお願いします。河合さん、川上さんようこそ。先日、梅雨入りということでしたが、今日はいいい天気で暑く、合間の中休みでしょうか。本日、外に出ましたら、雲の木木したのが見られ、入道雲らしく、夏近しの兆しですね。3カ月の長期予報を見ていますが、今年の暑さは例年通りと言っていました。最近暑いのが平年なので、決して油断はできないと思っています。

さて、6月3日は、庄川観光祭クリーン大作戦と南砺の山々を守る植樹祭の2つの行事があり、たくさんの会員に参加を頂き、有難うございました。高源さんの参加の感想も素晴らしく、大変嬉しく思いました。

また、クラブバナーが出来上がってまいりました。本日、初めてご披露いたします。横山豊介先生には、デザインを作成して頂き有難うございました。ほんの気持ちですが、会員一同の感謝をこめて、高源さんから、花束を贈呈させていただきます。【横山豊介会員の言葉：後述】

横山先生から、改めて作者の狙いどころをお聞かせ頂きました。バナーもでき、これで、いよいよ、河合年度にバトンタッチできます。尚、旧バナーは30ほど残っております。次年度の活動計画書と一緒に、記念に会員にお渡しいたします。

最後に、中尾ガバナーエレクトより、お礼状が来ます。先日の地区協参加と、斎藤彰会員の地区委員(会報)就任への御礼です。



10. 横山豊介会員：御指名を受けて、バナーのデザインをどうしようか、2週間以上考えてみました。当クラブには、他のクラブのバナーが70-80枚のコレクションがあります。バナーはクラブの顔です。前のものは日本画の斎藤清策先生のデザインですが、今回は私ということで、大変名誉なことで、色々と考えてみましたが、最後にこのデザインとなりました。ブルーは庄川、木の色は井波の彫刻、赤は福野の夜高をイメージしまして、シンプルなデザインとしました。東と南み RC ということで地域をシンボライズしました。しかし、5年後、10年後にも恥ずかしくないということになると抽象的なものが良いのではないかと思います、こういうデザインにしました。出来上がりを見ているのですが、世界のポスターのデザインを見ましても、7・8割は抽象的なものであり、当クラブのバナーもこれで良かったのではないかと今思っております。真ん中の白は、これからの会員増を願ったものであります。

11. 幹事報告：本日はありません。

12. 委員会報告：①出席委員会(水島委員長)：5月の出席率は、順に、80%、75%、85%、90%で、平均、82.50%でした。富山第3分区の中でも、最低でなく、喜んでおります。本日、16名(80.00%)②社会奉仕委員会(三角委員長)：6月3日の庄川観光祭クリーン大作戦には、大勢の参加を有難うございました。御礼申し上げます。又、協力頂いた各諸団体へは事務

局より、お礼状を出しました。又、南砺の山々には、私は参加出来ませんでしたが、大勢参加され有難うございました。③広報委員会(三谷委員長)：本日のロータリーの友は、表紙に注目です。白川郷で、日本の良き原風景、すぐれた景色の所だと感じられます。④河合エレクト：最終例会の翌日、28日午後6時半から、高瀬会長さん・浅田幹事さんのお疲れ様会を開催しますので、皆様ご参加して下さい。場所は、プリマヴェーラです。

13. ニコニコBOX(本日12名、19000円)

河合映浩君：(御忌法要を終えて)10~12日の3日間、純如上人の御忌法要を勤めました。10日は御茶会を開催、11日は御殿見学に井波の欄間の会がこられ、その紹介を北日本新聞に載せられました。

川上広美君：本日は実家のある大好きな街での例会に、出席させていただき有難うございます。今後共宜しく願います。

高瀬会長：東と南みロータリークラブのバナーが出来上がりました。デザインして下さいました横山豊介先生に会員一同心から感謝申し上げます。

河合エレクト：6月28日(木曜)午後6時半より、高瀬会長、浅田幹事のお疲れ様会を計画しています。プリマヴェーラで楽しい一時を過ごしましょう。

横山豊介会員：私のデザインしたクラブ新しいバナーが出来上がりました。

小西会員：奥野先生ようこそ。久しぶりにホーム例会に出席したような気がします。先日、宅建協会の総会で県副会長に任命されました。忙しい時は重なるものです。いずれも気が抜けない一年になりそうです。

斎藤会員：先日PET検診に行ってきました。とりあえず異常ありませんでした。息災なだけを取り柄ですが、親に感謝です。

三角会員：奥野達夫様、本日はようこそおいで下さいました。

荒木会員：麦秋に黄金の穂なみ、ざわざわとのんびり散歩でもしてみたい。

中島会員：南砺RC河合さん、砺波RC川上さん、ようこそ。奥野館長さん本日の卓話楽しみにしています。サマージャンボ砺波アピタから2等が5本、私も買ったのに…。

次があるさ…（笑）

山本会員：河合さん、この前の「南砺の山々を守る植樹祭」参加出来ずすみませんでした。末娘、高校最後の大会で頑張りました。3年連続でインターハイ出場します。これから、北信越大会、博多での全国大会、新潟のインターハイと応援が目白押しです。

岩崎会員：5RC コンペ、はからずも個人戦で優勝させていただきました。団体は残念でしたが…。奥野館長、河合さん、川上さん、ようこそ。



【南砺の山々を守る植樹祭に参加の会員】

卓話「南砺の文学・棟方志功と岩倉政治」

奥野達夫氏（福光美術館館長）

三角会員（紹介者）：本日は、お忙しい所、福光美術館館長の奥野達夫先生にお越しいただきました。奥野先生のプロフィールは、1940年福光のお生まれで、広告制作・イベント企画の電通を経て、現在、福光美術館館長です。魚津に在住され、富山民族の会幹事、NPO法人グリーンツーリズムとやま副理事長、新幹線戦略とやま県民会議委員などをされています。

奥野氏：はじめに、バナーのデザイン、さすが横山先生です。私はこれまで、シンボルマーク等のデザインに関わってきましたが、一番理想的なのは抽象的な形がいい、しかし一言説明を聞くとなるほどと納得できる具象のこの2つのミックスするのが理想であり、先ほどから感心して見ておりました。



さて、本題です。棟方志功と岩倉政治の2人、根の深い部分が繋がっています。2人とも、世界的な、全国的に通用する巨匠であります。私は仕事柄、12年間棟方志功に関わっていますが、棟方一族とお付き合いするのが私の一番の大事な仕事なんです。

棟方一族の方が、こちらに來られて大変な苦勞をされました。なかなか地方に馴染めなかったり、有名になってからもトラブルがあったりして、特に福光町、富山県は、家族にとって必ずしも良い印象がないのです。そんなことで、50年ほど、疎遠な関係が続いていました。何とかして元に戻したいという思いでお付き合いしてきました。少しずつ南砺に対する御遺族の考えも変わりました。美術展での企画展も円滑になってきています。子息で御存命なのは4人兄弟姉妹のうち、2人だけです。

岩倉政治のほうは、高瀬村出身で東京に行き、戦後は一時城端に疎開されていました。長女で塩子さんという大変聡明な方がおられます。岩倉さんらしいのですが、人間は塩と麦があれば生きていける、それで長女に塩子、次女に高子で、三女に麦子と名前をつけたのです。塩さんは、富山中部高校では、オール10という才女でした。通信教育、大学入学資格検定に挑戦され、9科目受けて合格したことを新聞に紹介されました。私も同時に合格したこともあり、文通をしました。そのうち住所を見ましたら、富山市永楽町岩倉とあり、共産党の岩倉でないかとびっくりしました。私が19歳で、富山に出た時に訪ねました。書斎から岩倉政治さんが出て来られて、「うちの娘をありがとう」と言われ震えた事を覚えています。次女の高子さんは、俳優座の養成所の難関を突破され、女優の卵となって、青年座の幹部女優となっておられます。大活躍されています。

三女の麦子さんは布絵の第一人者です。息子さんは、歯科医で東北大で勤務されていました。【岩倉政治さんの奥さんも歯科医でした。】偶然にも、棟方家の姉妹、岩倉家の姉妹両方との付き合いがありました。

高志の国文学館がもうすぐ富山市でオープンしますが、大伴家持をメインにするということで準備されています。なぜ高岡市のブランドでもある大伴家持を県へ持っていたのか、素朴な疑問がありますが、それはとにかく金沢文学館を意識しているのです。

本当は、岩倉政治を中心にすべきです。ところが当時、共産党に入党し、そのイメージが強烈であったため、はずされたのでしょう。本当は、全国に誇れる文学の世界では大家で、棟方志功とともに大きな存在です。

棟方志功がどうして文学かということですが、本人は戦中戦後を通じて生き抜いた人で、自分が文学者と言ったり書いたりしません。しかし、棟方志功は非常に言葉に敏感であり、言葉を大切にする人でした。音楽も絵も、言葉もおんなじだという考え方を持っている人でした。特に短い詩をもとにして日展の特選の画もありました。文学作品や詩集を基にして世に出た人です。

そして、棟方志功は、今わかっているだけでも、140冊くらいの本の装丁や挿絵を担当(デザイン)しています。これは大変なことなのです。作家にとっては一生に一度、二度出せるかどうかは分からないということで、勝負の出版物です。そのデザインを行うということはその作家が何を求めているのか、これまでの作品等、すべて知らないと出来ません。それだけ深い付き合いをしないと出来ない中、140冊余りデザインをされました。全て含めると263名の有名な文学作家の装丁をしています。その半数は、谷崎潤一郎や宮澤賢治といったほんとに有名な作家です。今度、文学館ができますが、棟方志功の人脈だけで3~4の館ができるような交流があった人です。文学者との深い付き合いをしていたということは、なかなか表には出てきませんが、その本を集めている人がいます。県の埋蔵文化センターの山本さんという所長が、インターネットで探して、200冊ほどコレクションされています。

一方、岩倉政治ですが、最近、中央公論の昭和15年の本が、私自身、インターネットで500円で手に入りました。目次を見ましたら、錚々たる文学者や文化人が載って

おり、最後に特集で創作作品があり、1つは、岩倉政治の短編小説です。井波の山見村の村長をモデルにしたもので、村政要覧等を参考にして書かれた作品です。これもいなた一ネットで見つかりました。

棟方志功と正反対の岩倉政治が疎開してきましたが、文化については岩倉も半端でなく、また新しい宗教のあり方を模索しています。「親鸞」とか「赤尾道宗」など、素晴らしい作品を遺しています。大伴家持の作品もあります。家持が赴任直後、利波臣志留志(となみおみしるし)という豪族がおり、手に負えない状態であったのを、家持が何とか説得し、東大寺の大仏殿の寄進について協力させたという話です。この豪族の名前が、となみという名前の原点になったのが「大伴家持」という小説であります。

【ここで、資料の説明：棟方志功について、岩倉政治のコメント。】

岩倉政治と棟方志功のつながりは、城端の文化サロンにあります。サロンは、昭和20年から25・26年まで、集まって喧々囂々とやっていた幸せの時代があります。レベルの高い会話がされていました。日本人の原点みたいなものも残っています。

さて、新幹線が2年半後に否応なしにやってきます。その時、この地域はどうするのかということです。いくつかありますが、一口に言うと金沢の一人勝ちと思っている人が圧倒的に多いです。ですが、金沢は1回行ったら終わりです。京都に負けますから。首都圏は3600万人います。そこと繋がる事を考えるべきです。物のわかる人がやってきた場合、売り物は何かということになります。どちらかというと新幹線というのは、東京の一人勝ちの装置であり、若者が一方的に吸い上げられます。それを止めるには、やはりこちらの文化レベルの高さや魅力とか、人の情報を発信しなければなりません。

いくつかありますが、その中の一つとして、岩倉政治や棟方志功について正しい情報を届ける必要があります。二人の存在をもっと丁寧に扱う必要があります。地域の文化を丁寧に磨きあげていく努力がいると思います。3600万人の0.1%来ればいいです。その人たちに伝わるようなメッセージを送ればよいと思います。

一つの手掛かりは、地域の文化を物語りにしていく力です。